

2026  
年度

# 日本看護協会研修一覧



「看護の日」キャラクター  
かんごちゃん

## 看護職の活躍の基盤となる生涯学習をサポート!

日本看護協会では、2040年に向けて、「看護の将来ビジョン2040」を公表しました。  
2040年にみなさんはどんな活躍がしたいですか？

日本看護協会では、看護職の活躍を支える基盤となる生涯学習を支援する一環として、都道府県看護協会と協働して研修を実施しています。

提供する研修は、働く場を問わず活動の基盤となる内容や、看

護・医療政策に関する内容などに特化しています。「看護職の生涯学習ガイドライン」に示した考え方も参照いただき、将来のなりたい姿や強化したい能力などに合わせて、研修を選択・受講し、実践へ活用ください。



## 日本看護協会が提供する研修の特徴

### すべての看護職が 安全に看護を提供するために 必要な研修

- 専門職としての活動の基盤となる医療安全、感染管理、看護職としての職業倫理は、活動する領域や職種を問わず、また習熟段階に関わらず定期的な知識や技術の更新が重要です。
- 離職・休職中の看護職にも受講をお勧めします。

### 学びを実践に活かし、 実践から学ぶ 循環を促進する研修

- 個々の看護職が積み重ねてきた実践での学びと、研修での学びを結び付けることができるよう、講義にワークや演習を組合せた構成で提供しています。
- オンデマンド研修とリアルタイム研修の組合せでは、講義での学びに加え、他受講者とディスカッションを行うことで省察が進み、次の実践へと繋がっていきます。

### 施設内研修で 「教材」として活用する 研修

- オンデマンド研修の「施設用教材」は、施設内研修の目的に合わせ、視聴順や視聴箇所を選択するなど、自由度高く活用できます。
- 「施設用教材」を活用することで、これまで施設内の研修企画から講師調整、スライド作成に費やしてきた時間を、実践の場での支援に使えます。



## 定期的な 学び直しに活用を!

日本看護協会が提供する研修では、2024年より「研修分類1：専門職としての活動の基盤となる研修」の中で、「定期的に学び直しが必要な研修」を提示しています（研修名にUPDと印がついています）。

「定期的に学び直しが必要な研修」には、活動する領域や職種を問わず、専門職として安全に看護を提供するための基盤となる「医療安全」「感染管理」の基本と、専門職としての自律した判断を的確に行うための行動指針となる倫理綱領や業務基準に関する内容などが含まれています。

医療安全や感染管理を定期的に最新の知識に更新する必要性は、広く知られていますが、倫理綱領や業務基準については新人時代に学んだものの、定期的に学び直しされていない方も多いのではないでしょうか？

### 【分類1：「定期的に学び直しが必要な研修」の活用のススメ】

「看護の将来ビジョン2040」において、2040に向けた3つの目標として「その人らしさを尊重する生涯を通じた支援」「専門職としての自律した判断と実践」「キーパーソンとしての多職種との協働」を掲げています。そして、その実現に向けては、「看護が地域のあらゆる場で人々の傍にあり、多様化する対象者と複雑化するニーズに応えていくには、人間の生命と尊厳及び権利を尊重する高い倫理観はもとより、看護職一人ひとりの看護実践能力を向上させ、自律した看護を展開することが欠かせない」と示しています。

対象者のニーズも、それに合わせた看護活動も多様化するからこそ、常に専門職としての職業倫理等に基づき自律的に判断・実践することがより重要になります。新人期だけでなく、キャリアを問わず、また働く場所・領域にかかわらず、定期的に、行動の基盤となる倫理綱領や業務基準に立ち返ることや、自分たちの実践をこれら行動指針に照らして振り返ることなどを通じて、専門職としての判断軸を揺らがないものにしていきましょう。

## 看護管理者・教育担当者の皆様へ

「看護職の生涯学習ガイドライン」や「生涯学習支援ガイドブック」に示したように、各施設の生涯学習支援では、働く場での学びの支援が重要です。その一つの「普遍的な知識と個別的な実践を結びつけることの支援」は、日本看護協会提供の研修を活用いただく際

にも、研修で学んだ普遍的な知識をそれぞれの看護職の実践と結び付けて理解し、日々の実践に活用していくために、取り組みを進めていただきたい点です。

特に、倫理綱領や業務基準などに関する研修については、その学びを日々の実践にどのように反映させて

## 学びを実践に活かすための各施設での取り組み!

いくかは、医療安全や感染管理・看護実践の具体的な内容に関する研修と比べ、看護職自身では具体化することが難しい側面があります。日々の実践や事例検討、カンファレンスなどを通じて、知識を実践に活かすための支援をお願いいたします。

## 基本方針

公益社団法人日本看護協会（以下、本会という）は、看護の質の向上、安心して働き続けられる環境づくりの推進、人々のニーズに応える看護領域の開発・発展を図ることにより、人々の健康で幸福な生活の実現に貢献することを使命としている。この目的に向け、定款第4条の7事業の一番目に「教育等看護の質の向上に関する事業」を挙げている。

看護職が活躍する領域や場は多様化し、看護職の役割発揮に対する社会からの期待は高まっている。

看護職が人々の期待に応え役割を発揮するためには、主体的に継続的な学習に取り組み、能力の開発・維持・向上を図り続ける生涯学習が重要になる。

そこで本会では、生涯学習の羅針盤となる「看護職の生涯学習ガイドライン」を策定するとともに、生涯学習の支援として看護職個人への学習機会の提供と各施設向けの研修提供を行う。

また、研修の企画実施にあたっては、都道府県看護協会と常に連携・協働して実施する。

具体的には、看護職個人への学習機会の提供として、①専門職としての活動の基盤となる研修、②看護・医療政策に関する研修、③人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修、④看護管理者を対象とした研修、⑤資格認定教育を行う。また、各施設向けの研修提供として、施設内教育の際に活用できる研修教材の制作・提供を行い、看護職の生涯学習を支援する。

## 受講料

（提供方法にかかわらず研修時間ごと）

下記以外の時間数の研修については研修ポータルサイトをご確認ください。また、研修によっては異なる場合もあるので、受講前に研修ポータルサイトで確認ください。

	会員	一般
60分	1,500円	2,500円
90分	2,000円	3,000円
180分	4,000円	6,000円
270分	6,000円	9,000円
360分	8,800円	13,200円



生涯学習の計画を立てる時には、まず看護職として活躍するためにどのような資質・能力が求められているかを確認し、自分がどのような内容を学ぶかを考えることが重要です。

研修一覧では、看護職に求められる能力のうち、看護師および助産師は、求められる能力を「看護実践能力」「助産実践能力」を用いて研修を示しています。看護管理者とその候補者には、病院看護管理者の能力および認定看護管理者に求められる6つの能力を用いて研修を示しています。

- **看護実践能力**：「看護師のまなびサポートブック」掲載
- **助産実践能力**：「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)活用ガイド2022」掲載
- **病院看護管理者の能力**：「病院看護管理者のマネジメントラダー日本看護協会版」掲載

### 研修の申込み・配信期間等について

- 申込期間：研修ポータルサイトをご確認ください。
- 配信終了：OD研修は2027年3月19日、組合せ研修の終了日は研修ごとに異なるため研修ポータルサイトでご確認ください。
- OD研修の受付開始、申込終了および配信終了の時間は、いずれも13時です。

### 対象／レベルについて

- 研修制作上の目安として設定しているもので、受講者を限定するものではありません。
- レベルは、「看護実践能力習熟段階」、「助産実践能力習熟段階(CLoCMiP)」(C)、「病院看護管理者のマネジメントラダー」(M)に基づき記載しています。

※「CLOCMiP」は助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)である。Clinical Ladder of Competencies for Midwifery Practiceの頭文字から表記しており、公益社団法人日本看護協会の登録商標です。

### 凡例

- OD：オンデマンド研修(事前に収録した講義をインターネットを介して受講する研修)  
※個人受講の他、施設用教材としての使用も可能です。
- RT：リアルタイム研修(開催日にリアルタイムでインターネットを介してオンライン講義を受講する研修)
- 組：組合せ研修(オンデマンドとリアルタイムもしくは集合を組合せた研修)

### 研修の関連情報

- UPD：定期的に学び直しが必要な研修
- 診：診療報酬に関する研修
- 管：看護管理研修【看護管理を体系的に学ぶ基礎的な研修です。1研修からの受講が可能ですが、「401看護管理概論」の受講が必須となります。】
- ▶：講義の一部を無料で視聴できる研修(視聴期間：4月9日～1月15日)

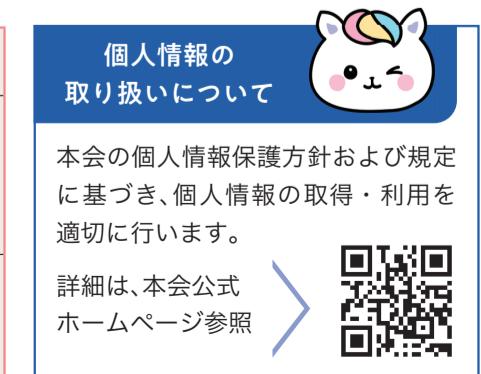
### 開催月

- ※1：都道府県看護協会にご確認ください
- ※2：日本看護協会研修ポータルサイトをご確認ください

研修分類	研修番号	看護実践能力／助産実践能力	研修名	対象／レベル	提供方法	時間数	開催月／配信開始	主な内容	
分類1 専門職としての活動の基盤となる研修	I01	専門的な実践能力・倫理的	ピュアカーディア 日常生活場面で理解する看護職の倫理綱領と看護業務基準 2021改訂版	UPD ▶	新人～II	OD	4月9日～	看護職が社会的責務を果たすうえで拠りどころとなる倫理綱領等を学びます。	
	I02		倫理的 生命危機の場面における倫理的実践	▶	II			様々な生命危機の場面に立ち会う看護職が、専門職として倫理的判断に基づく対応ができるために必要な知識を学びます。	
	I03		実法的 看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト／シェア	▶	新人～IV			「看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト／シェアに関するガイドライン及び活用ガイド」に基づく研修です。タスク・シフト／シェアを進めるために必要な知識を学びます。	
	I04		と二 からえるを 力づけるを	対象者への“いつもと違う”への対応～求められる思考プロセスとアセスメントの基本～	II			7月1日～	現在の状況から対象に起きていることを予測し、必要な情報を確実に収集し、見逃してはいけないサインを踏まえたアセスメントにより必要な対応を判断するための思考プロセスを学びます。
	I05		ケアする力 高齢者の“いつもと違う”を看護に活かす～腹痛を訴える高齢者～	▶	III	RT	180分	8月	事例をもとに高齢者の“いつもと違う”様子から“今、何が起きているのか”、“今ある情報から、より確かな判断に必要な情報は何か”等を受講者自身によるアセスメントと講師による解説を通して、学びを深める研修です。
	I06		介護保険施設で生活する高齢者の支援に必要な知識とケア	▶	II		90分	4月9日～	介護保険施設で働く看護職が、医療機関との違いや高齢者の特徴を踏まえたケアについて学びます。新たに介護施設での活動を始める方にお勧めです。
	I07		力を思 考する定 個人の尊厳を守る意思決定支援	▶	II		60分		意思決定支援の基本的な考え方を理解し、直面する課題や支援に必要な知識と技能を学びます。
	I08		力する協働 療養生活を支え、看護をつなぐ入退院支援	▶	II		90分		これからの暮らし方の変化を踏まえ、地域での療養生活における支援の視点と実際にについて学びます。
	I09	看護実践能力 移業務の委譲／リーダーシップとマネジメント能力	看護チームにおける業務のあり方(基礎編：看護師の責務) 2024改訂版	▶	新人～IV		180分		看護チームの中での看護師が果たす役割と責任、安全で質の高い看護の提供に向け、看護師・准看護師・看護補助者の業務のあり方を学びます。
	I10		看護補助者との協働推進のための研修＜看護補助体制充実加算対応＞	▶	II		60分		医療機関の看護職が専門性の発揮を目指し、看護補助者との安全な協働のために必ず知っておくべき内容です。
分類2 専門職としての活動の基盤となる研修	I11	安全な環境の整備 リーダーシップとマネジメント能力	災害への備えと対応	▶	新人～II	OD	90分	4月9日～	災害の影響と、平時からの備えの重要性について学びます。施設内研修での活用もお勧めです。
	I12		医療安全の制度・施策の動向と法的基礎知識 ※「医療安全管理者養成研修」1章の一部を用いています	UPD ▶	新人～II		180分		提供される医療のほぼ全てに関与する看護職が安全に実践を行ったために、働く場所や習熟段階等に関わらず、定期的な知識のアップデートが必要な研修です。
	I13		感染予防・対策の基本	UPD ▶	新人～II		60分		感染拡大・職業感染を防止し、安全な医療およびケアを提供するために、働く場所や習熟段階等に関わらず、定期的な知識のアップデートが必要な研修です。
	I14	専門性の開発能力 強化看護の専門性の貢献の	専門職の社会的責務と制度・政策の決定過程の理解と参画～看護職の倫理綱領(本文15)に基づく責務の理解～	UPD ▶	II	OD	90分	7月1日～	専門職としての社会的責務とは何か。制度や政策に影響を与える看護職の関わりについての重要性を学びます。施設内研修での活用もお勧めです。
	I15		2040の看護のあり方		新人～IV		60分		看護職が対象となる人々の多様なニーズに対応して看護を創造していくためには、社会そのものの変化を理解することも重要です。看護の将来ビジョン2040に示された社会の変化とあるべき看護を解説します。
	I16	学生習業 専門性の開発能力	なりたい自分になる！～まなびサポートブックと一緒に進もう～	▶	新人～II	准看護師	4月9日～	90分	看護職としてのキャリア形成に必要な考え方や、研修の活用方法について学びます。
	I17		①看護に生かす褥瘡予防の基本 ②誤嚥性肺炎を予防する口腔ケアの基本	▶					施設等で高齢者に生じやすい褥瘡や誤嚥などに対し、安全・安楽な看護を提供するために必要な知識と技術を学び、日々の実践に活かせます。
	I18		①感染予防の基本2023 ②誤嚥を予防する食事介助の基本	▶					1テーマ45分の構成で、施設内の勉強会等への活用もお勧めです。
	I19	助産実践能力 マタニティケア能力	臨床推論につなげるためのフィジカルアセスメント 脳神経編		C-II	OD	4月9日～	90分	アドバンス助産師[新規][更新]申請要件[必須研修]に該当
	I20		臨床薬理(妊娠と薬)		C-II				
	I21		妊娠と糖尿病		C-II				
	I24		院内助産における産婦主体の助産ケア提供～フリースタイル分娩の介助		C-III				
	I22	専門的自律能力	周産期における医療安全と助産記録		C-II	保健師	4月9日～	7月1日～	アドバンス助産師[新規][更新]申請要件[選択研修]に該当
	I23		「院内助産・助産師外来ガイドライン2018」の活用のすすめ		C-III				
	I25		助産実践能力習熟段階(CLoCMiP)と助産師の活躍		C-III				
	I26	地域全体の健康・療養支援と仕組みづくり～自治体保健師と地域の看護職の連携・協働～	困難事例を支援する事例検討会を学ぶ～個別課題から地域課題への検討・解決につなげる事例検討の視点・ポイント～	▶		OD	90分	4月9日～	複雑かつ多重課題を、個別課題から地域課題につなげる有効な事例検討を学び、対象に合った実践に活かせます。
	I27		ポピュレーションアプローチに取り組むメリット・デメリットと保健師の役割～保健師活動の効果的な実践・展開を目指して～	▶					
	I28		地域全体の健康・療養支援と仕組みづくり～自治体保健師と地域の看護職の連携・協働～	▶					

研修分類	研修番号	看護実践能力／助産実践能力	研修名	対象／レベル	提供方法	時間数	開催月／配信開始	主な内容
分類2 〔看護・医療政策に関する研修〕	一	臨床実践能力	外来における在宅療養支援能力向上のための研修 <在宅療養指導料対応> 【都道府県看護協会主催研修】	診	II	組	200分	※1 外来看護を取り巻く現状と課題を知り、自施設の外来が果たすべき役割と自らが外来で担うべき役割を理解し、在宅療養支援に必要な知識を習得できます。
	201		臓器移植における基礎知識と看護実践 <移植後患者指導管理料対応>	診	—		18時間	開催月未定 臓器移植医療に携わる初学者を対象とした研修です。移植医療における看護師や移植コーディネーターの役割について講義・演習を通して学ぶことができます。
	202		小児在宅移行支援指導者育成研修 <入退院支援加算3対応>	診	—		11時間	OD：4月～RT：10月 NICU等に入院する児の在宅移行を推進し、児と家族を支援することができる人材育成を目的としています。小児在宅移行支援の推進に必要な方策を学びます。
	203		認知症高齢者の看護実践に必要な知識 <認知症ケア加算2,3対応> 【都道府県看護協会主催研修・本会主催研修】	診	—		11時間	※1 ※2 認知症患者のアセスメントや看護方法等に係る研修で、認知症高齢者の看護実践に必要な基本的な知識を学ぶことができます。
	204	看護実践能力	マネジメント・シットアップ能力と 医療安全管理者養成研修<医療安全対策加算対応> 【都道府県看護協会主催研修・本会主催研修】	診	III	OD	40時間	※1 ※2 所属施設および地域で医療安全管理業務を実践できるよう、安全管理業務を遂行するために必要な知識と技術を学びます。 ※今年から都道府県看護協会主催に変更になります。
	205		災害支援ナース養成研修(厚生労働省委託事業)	II	—		30時間	※1 災害・感染症等に関する基礎知識・技術の習得と派遣の概要を理解し、実際の派遣時に対応できる技能を習得します。 ※申込みは、施設単位で都道府県看護協会へ。
分類3 〔入材育成や教育支援を行う者を対象とした研修〕	206	の看護 貢献と専門性 と社会性	看護の評価を得るためにプロセス ～診療報酬決定過程に学ぶ～	▶	III	OD	60分	制度・政策において看護の評価を得ること、及びその決定過程でのエビデンスの重要性や看護職の関わりについて、診療報酬を例に学びます。
	301	専門性の開発能力	組織で行う生涯学習支援の基礎知識	▶	III		120分	4月9日～ 生涯学習支援の考え方を知り、個々の看護職への主体的学習、キャリア形成への支援を理解し、施設における人材育成と支援の実際を学びます。
	302		ファシリテーション技法を学ぶ	—	III～IV		180分	ファシリテーションの考え方に基づき、研修・演習でのファシリテーターの役割やファシリテーション技法を学びます。
	303		倫理カンファレンスのあり方・進め方	—	III		360分	OD：4月～RT：6月 講義と演習を通して、看護における倫理の基礎的な知識を理解し、現場の倫理的課題解決に向けた倫理カンファレンスの活用のあり方・進め方を検討します。
	304		看護実践能力開発のためのラダー導入の考え方と 作成方法	—	—		60分	各施設での人材育成を目的としたラダーについて、これから導入を検討する施設を受講対象として、基本的な考え方・方法等について学びます。
	305		臨床での疑問を見過ごさずケアの改善へ： 実践に活かす情報収集(文献検索)の基礎	—	III		7月1日～ 看護実践の質向上に活用するための文献検索について、研究や実践との関連を踏まえ、施設内の勉強会等でそのまま活用できる内容も含めて学びます。	
	306		新人看護職員研修ガイドラインの概要	—	—		— 新人看護職員研修の基本となる考え方を示している、新人看護職員研修ガイドラインの概要について学びます。	
分類4 〔看護管理者を対象とした研修〕	401	組織管理能力／組織管理・経営管理能力	看護管理概論<看護管理研修1>	管	—	組	360分	OD：11月～RT：1月 社会保障制度と医療提供体制、看護サービスの特性を踏まえた看護管理の概要を理解し、看護管理者の役割と意義・必要な能力について学びます。看護管理研修を受講する場合は必修です。
	402		労務管理入門～働きやすい職場環境づくりの基礎知識～	▶	M-I～II	OD	90分	5月予定 働き方改革等国の最新動向を踏まえた労働関係法令と基礎知識を学びます。現場で生じやすい疑問にも答えます。
	403		看護職の多様な働き方とやりがいを支える評価・処遇	M-II	—		60分	7月1日～ 看護職の働き方が多様化する中において、やりがいを支える評価・処遇に関して、管理者が押さえるべきポイントを学びます。
	404		組織マネジメント概論<看護管理研修2-1>	管	—	OD	OD：11月～RT：2月 OD：11月～RT：2月 OD：11月～RT：3月	*看護管理概論(401)の事前受講が、受講要件です 看護管理者に必要な組織に関する基礎知識を学びます。
	405		看護組織におけるリーダーシップ<看護管理研修2-2>	管	—		—	*看護管理概論(401)の事前受講が、受講要件です 看護組織を主導する看護管理者の役割及び多職種連携における看護管理者の役割を理解し、役割発揮のための方法を学びます。
	406		看護業務のマネジメント<看護管理研修2-5>	管	—		—	*看護管理概論(401)の事前受講が、受講要件です 看護管理者として、自部署の業務を効果的・効率的に進めるための手法を学びます。
	407		看護チームの力を最大限発揮する看護管理者の役割 ～看護師と准看護師の協働を目指して～	M-I～IV	—	OD	270分	OD：7月～RT：10月 看護チームの力を最大限発揮するために、看護師・准看護師の業務のあり方にに関する基本的な考え方及び自施設における方策をグループで検討します。
	—	病院看護管理者の能力／認定看護管理者に求められる6つの能力	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 <看護補助体制充実加算対応> 【都道府県看護協会主催研修】	診	M-I～II		300分	※1 法令やガイドラインに沿い、看護管理者に求められる安全で効率的な業務実施体制の整備について学びます。(オンデマンド講義は日本看護協会が制作)
	408		看護管理者のためのデータに基づく質管理	—	M-II～IV	組	OD：7月～RT：10月 OD：5月～RT：7月 OD：11月～RT：2月 OD：11月～RT：1月 OD：11月～RT：2月 OD：11月～RT：3月	データに基づく質管理プロセスの実際について理解を深め、所属施設における質管理のためのデータ分析をもとに看護サービスの質改善策について考えます。
	409		リソースナース (専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者)の活躍推進	—	M-II～IV		—	人的資源管理における看護管理者としての役割を再認識し、リソースナースの活用について、実践報告やグループディスカッションを通して具体的対応策を考えることを目指します。
	410		生涯学習支援・キャリア形成支援の基礎 <看護管理研修4-1>	管	—		—	*看護管理概論(401)の事前受講が、受講要件です 看護職を雇用する組織における生涯学習支援・キャリア形成の考え方を学びます。
	411		安全管理<看護管理研修5-1>	管	—		—	*看護管理概論(401)の事前受講が、受講要件です 自部署における安全対策・対応の考え方と方法を学びます。
	412		災害対応<看護管理研修5-2>	管	—		—	*看護管理概論(401)の事前受講が、受講要件です 平時および災害発生における看護管理者の役割をとるための考え方・方法を学びます。
	413		制度・政策と看護管理<看護管理研修6>	管	—		540分	*看護管理概論(401)の事前受講が、受講要件です 看護に関連する諸制度を、看護管理に活かすための考え方・方法と、制度・政策実現のプロセスにおける看護管理者の役割を学びます。
	414		看護を取り巻く社会の動向	M-I～IV	OD	60分	※2 OD	看護サービスをニーズに合わせて創造していくためには、看護を取り巻く社会や制度・施策の動向を把握することが欠かせません。最新の動向について、看護管理の観点から学びます。
分類5 〔資格認定教育〕	501	認定看護師対象キャリアアップ研修	認定看護師対象キャリアアップ研修	—	OD	180分	7月1日～ 2040年を見据えて、認定看護師としての自律性をより高め、期待される役割と自身のキャリアアップについて考えるための研修です。	
	—		認定看護師教育課程：クリティカルケア 皮膚・排泄ケア 感染管理 糖尿病看護 認知症看護	—	—	—	—	詳細は本会HPの募集要項をご確認ください。
	—		認定看護管理者教育課程：サードレベル	—	—	—	—	—

研修分類に基づく 研修以外の研修	特定行為研修	認定看護師や在宅領域に従事する看護師に対し、研修を実施しております。詳細は本会HPをご確認ください。
	看護補助者を対象とした標準研修 <急性期看護補助体制加算等>	看護補助者が医療機関で働くうえで必要な知識と技術の習得に役立つ研修です。看護管理者の方は、ぜひ各施設での体制整備に活用ください。 ・モジュール1,2,3,4-1～4-5の8つに分かれています。モジュール1は担う業務に関わらず看護補助者として必須となる内容を網羅した「必須研修」です。モジュール2以降は、各施設の状況に応じて選択可能です。詳しくは「研修ポータルサイト」をご確認ください。
	看護補助者標準研修 一看護補助体制充実加算該当パッケージ	直接ケアを主として行う看護補助者に必要な内容です。 ・オンライン研修を用いた講義と演習を組合せて行う研修です。申込みは、所属施設の看護管理者がとりまとめて都道府県看護協会へ。(※都道府県看護協会で実施していない場合は、日本看護協会へ申込み)詳しくは「研修ポータルサイト」をご確認ください。



# |注|目|の|研|修|の|ご|紹|介|

日本看護協会ならではの研修！

イマを読み解くために、看護管理者だけでなく  
すべての看護職の受講をお勧めします

看護を取り巻く社会の変化は、ケアの対象となる人々のくらしや健康、看護提供の方法、保健・医療・福祉等の提供体制など、様々な側面で看護実践に影響しています。

これからの時代において、社会の変化とその看護への影響を読み解くことは、看護実践を自律的に行うには不可欠です。看護管理者だけでなく、すべての看護職の受講をお勧めします。



研修No.414

【看護を取り巻く社会の動向】

## ◎ その時のトピックスをテーマに設定

社会の変化のスピードが速い中、「今、押さえておくべきトピックスが何か」を的確に把握することが難しくなっています。本研修は定期的に提供し、その時のトピックスをテーマに設定していますので、看護を取り巻く社会のイマを把握できます。

## ◎ 社会の変化を、看護の視点から解説します！

社会の変化を読み解く時には、「正しい情報」を「看護職の視点」から読み解くことが欠かせません。看護政策を提言・実現している日本看護協会だからこそ、正しい最新の情報をもとに、看護職の視点から読み解きます。

## これからの活躍に向け必要な要素を学ぶ！

### 【研修No.104：対象者への“いつもと違う”への対応～求められる思考プロセスとアセスメントの基本～】

これからの時代、看護職はさらに自律性を高め、適時適切に対応することが求められます。それには、対象者の変化から、何が起きているのかを予測し、必要な対応を判断できる力が必要です。その判断のための基本となる思考プロセスとアセスメントを学ぶ研修です。

★このほかのおすすめ研修 → 研修No.105：  
高齢者の“いつもと違う”を看護に活かす～腹痛を訴える高齢者～

### 【外来における在宅療養支援能力向上のための研修】 (都道府県看護協会主催)

長い療養経過をたどる対象者が増える中、地域で暮らす対象者の療養支援の重要性が高まっています。本研修は、外来での療養支援について、地域連携や社会資源なども含めた基本的知識の獲得と、実践への反映を目指した演習からなります。診療報酬に関連する研修です。

★このほかのおすすめ研修 → 研修No.202：  
小児在宅移行支援指導者育成研修

### 【研修No.116：なりたい自分になる！～まなびサポートブックと一緒に進もう～】

看護職の活動を継続する期間が長くなるとともに、活躍の場も広がっています。自分自身でこれからの姿(なりたい自分)を考えて、準備し取り組んでいくことが大切です。この研修では、新人看護職はもちろん、自分のキャリアをどのように切り開いていくか考えるきっかけとして、すべての看護職にお勧めします。

★このほかのおすすめ研修 → 研修No.115：2040の看護のあり方

## 看護管理の体系的な学びを

### ～2027年度からの「看護管理研修」の全国での実施に先駆け、2026年度に8研修を先行実施します～

「看護の将来ビジョン2040」にも提示されたように、質の高いサービス提供には、すべての看護職が看護管理の視点を強化して、日々の実践に活かしていくことが重要となります。

日本看護協会では、看護職全体のマネジメントの質向上を目指し、認定看護管理者教育を見直し、「看護管理研修」及び「新たな認定看護管理者教育」に整理しました。

このうち、看護管理研修(全16研修)は2027年から順次、認定看護管理者教育機関での研修実施が始まります。

日本看護協会では、全国での実施に先駆け、2026年度に一部の研修を先行実施します。

マネジメントは、看護管理者に限らず、すべての看護職の実践に必要な視点です。身近な教育機関での受講も含め、看護管理研修の受講をお勧めします。

## ◎ 実践に活かせる研修です

- ・オンデマンド研修とリアルタイム研修を組合せ、知識・実践での実際・演習での自分の活動への落とし込みと、実践に活かすことを目的に企画しました。
- ・病院だけでなく、様々な場所での活動を前提にした研修内容です。
- ・全16研修を体系的に学ぶことも、概論+選択した研修のみを受講することも可能です。自分のキャリアや実践での課題などに合わせて、計画的に受講を進めましょう。

## どの研修を受講しようか迷ったときに！

### ～研修ポータルサイトのご案内～

日本看護協会の提供する研修に関する情報は、「研修ポータルサイト」に一元化して掲載しています。「研修の検索」では、研修分類や看護実践能力、助産実践能力などで絞込検索を行うことが可能ですが、また、それぞれの研修の「研修目的」「研修プログラム」なども確認することができます。この紙面では限りがあり、ご紹介できていないプログラムの詳細など、ぜひ研修ポータルサイトでご確認ください。

また、2024年度から、研修の提供方法にかかわらず、申し込みサイトも一元化しましたが、「研修ポータルサイト」の各研修のプログラムページ等から直接リンクしています。

研修の検索から申し込みまで、研修ポータルサイトをぜひご活用ください。



日本看護協会の研修ポータルサイトのスクリーンショットです。画面には、研修の検索機能、各種メニュー（HOME、お知らせ、研修の検索、研修の活用情報、国や政策に関する最新情報、よくある質問、お問い合わせ）が表示されています。また、研修の実績や登録者情報、会員登録ボタンなどが見られます。

## キャリナース



他にもキャリナースに登録すると…

- ・全国の都道府県看護協会や日本看護協会が実施する研修情報の検索ができる
- ・最新看護索引WEBを使った看護関連領域の文献検索ができる

受講した研修が自動的に保存され、自分の受講履歴が管理できます！  
～研修受講の軌跡を振り返り、これからの看護にお役立てください～

日本看護協会会員の皆さま  
専用のWEBページです

<https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG000101>

